

NO.222

令和8年9月1日発行

3月

6月

9月

12月

定例会は年4回

市議会だより

くるめ

G I K A I T I M E S



特集1 総務常任委員会って何してる？ 行政の運営はどう変わっていくー

特集2 令和8年度予算審査を振り返る

総務常任委員会って何してる？ 行政の運営はどう変わっていくー

常任委員会特集第3弾。今号は総務常任委員会です。
委員会の役割に触れながら、その取り組みについて、ご紹介します。

総務常任委員会ってどんな委員会？

総務常任委員会は、市民窓口や防災、地域コミュニティなどの生活に身近な分野から、市の総合計画や財政、広報、シティプロモーションなど、市全体の運営に関わる幅広い分野を所管しています。人口減少や少子高齢化が進む中、財源や人材などの行政資源をどう生かしていくか、変化する社会環境に対応した行政運営が求められています。



総務常任委員会では市全体を見渡す立場から、
さまざまな課題について調査を行い、行政運営のあり方を検討しています。

身近になる AI

ところで、皆さんはAIを使ったことはありますか？
問い合わせの回答や文書を作成したり、画像を解析したり、AIは今や、私たちの暮らしに身近な存在になりつつあります。行政でもその活用を進めています。
総務常任委員会では、AIを重点テーマの一つに位置付け、久留米市での活用について調査を進めています。

委員会の 取り組み

まず、市の現状や課題を確認するため、所管事務調査を行いました。次に、AIなどDXを推進する先進自治体への行政視察や、民間企業へオンラインで視察し、多角的な視点で調査を進めました。

そこで得た知見をもとに、委員会では「何のために導入するのか目的を明確にすべき」「積極的な取り組みができる体制を作った方が良い」などの意見が出ました。

大切にしているのは、一つ一つの取り組みを「点」で終わらせないこと。調査や視察、委員間討議の「点」をつなぎながら、一つのテーマについて継続して追いかけていきます。

そして、AIなどデジタル技術を活用することで、行政内部を効率化し、そこで生まれた時間や力を、政策立案や個別の相談など、人だからできる分野に注力をしていく。将来的には、社会環境の変化、市民ニーズ、デジタル技術の動向等を捉え、今後も議論を続けていきます。



先進地視察の様子

問題の解決に 向けて

議会には執行権はありません。それぞれの議員が持つ意見を、委員会の意見または議会全体の意見として、行政に対する要望や気づきを市の執行部に伝えていきます。それを受けて、執行部が検討し、判断して、より良い方向へ動いていく。そこに議会の役割があります。

「行政の中で何をえられるのか」を考え、市民サービスの向上につなげる。その視点を大切にしながら、委員会では継続して調査を進めています。



総務常任委員会

AIで進化する市民サービス

AIチャットボット



あらかじめ用意した情報から
AIが質問に回答

電話による問い合わせの代替
市民ニーズの分析が可能に

議事録作成



会議の音声データを
AIでテキスト化

職員が音声を聞き返しながら
書き起こす作業を削減

水道管の漏水調査



人工衛星の画像をAIが解析
漏水の可能性が高い範囲を特定

現地調査の効率化
漏水箇所を早期発見

令和8年度予算審査を振り返る

令和8年度予算は、市長選挙の影響により、4月から6月までの暫定予算でしたが、改めて通年予算（1年分）が編成されました。4日間の予算委員会では、予算の配分が適切か、将来を見通したものになっているかなどを厳しく審査しました。

その様子を、中村委員長、田中副委員長と振り返ります。



市の予算案の印象は？

子育てや暮らしを支援するもの、商工業や農業などの成長を応援するものに、重点的に予算配分がされていると思います。これまでは、防災・減災に関する予算がしっかりと確保されている印象でしたが、今年度は、久留米をもっと元気に、そして、若い世代に選ばれるまちにしていけるための予算編成だと感じました。



たなか たかこ
田中 貴子 副委員長



なかむら ひろとし
中村 博俊 委員長

久留米をより住みやすいまちにするため、議会としてどう取り組む？

限られた財源の中で、どこをどう強化していくかの取捨選択が重要です。事業や施設などの集約、廃止、再編成など、今まで以上にスピード感を持って取り組まないといけません。

議会として、目の前の課題の解決だけではなく、本来どうあるべきかに立ち返って、未来に向けた提案をしていく必要があると思いました。



注目のテーマ

幼児教育研究所



幼児教育研究所では、発達に課題を抱える子どもやその家族への支援などを行っています。ここでの課題は、施設の老朽化や、相談までの待期間が長いこと。

また、今年度から5歳児健診*が始まるため、さらに利用者の増加が見込まれます。安心して過ごせる環境を整えるには、受け皿となる施設の機能拡充や専門人材の確保は必要なこと。現在の困りごとや将来を見据えて、さらなる改善を要望しました。

※5歳児健診…5歳児は、言語の理解能力や社会性が高まり、発達障害が認知される時期。一人一人の特性を把握するため、この時期に健診を実施。

事業所税



人口が30万人を下回ったことで、市は事業所税*を課税できなくなりました。市にとっては大きな税収減ですが、一方で、企業にとっては税金の負担が軽くなり、プラスに働くことも。事業所税を納める必要がなくなった分を、設備投資などに充てることができれば、企業の成長にもつながり、市の経済力が向上することも考えられます。

商工会議所などの関係機関と連携して、前向きな投資を促していくべきではないかの意見も出ました。

※事業所税…地方税法に基づき、人口30万人以上の都市が、道路や公園などの都市環境の整備や改善の費用に充てるため、市内で事業を行う者に対して課す目的税。

令和8年 6月定例会

令和8年度一般会計予算などを可決

主な審議事項

- 令和8年度一般会計予算
 - ・重点施策（若い世代から選ばれるまちづくり、地域の稼ぐ力の強化）
- （仮称）藤光東部産業団地の整備事業用地の取得
- 八重亀住宅No.1棟新築工事請負契約の一部を変更する契約締結
- 市税条例、印鑑条例、水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例など



議案の議決結果と賛否の状況はP7へ ➡

6月定例会の経過 会期 6月1日から6月26日の26日間

第1日

▼6月1日

- 会期の決定（26日間）
- 市長から令和8年度一般会計予算など15議案の提案説明

第2日～第6日

▼6月9日～15日

- 一般質問（P8～10へ）
- 議案の質疑
- 令和8年度一般会計予算など2議案を予算審査特別委員会へ付託
- 令和8年度予算関連議案以外の議案を各常任委員会へ付託
- 請願を総務常任委員会へ付託

予算審査特別委員会

▼6月16日～19日

常任委員会

▼6月22日・23日

- 2議案を審査（P4へ）

第7日

▼6月26日

- 予算審査特別委員長が令和8年度一般会計予算などの審査概要を報告、2議案を可決
- 追加議案1件を総務常任委員会で審査
- 追加議案1件を含む各常任委員会の議案審査結果を報告、全ての議案を可決・承認
- 人事議案6件が追加提出され、市長から提案説明の後、全ての議案に同意

● 請願の審査状況

	件名	付託先	審査状況
請願第4号	第3次公立保育所の運営再編計画中止 公立での松柏保育園の維持を求める請願書	教育民生常任委員会	継続審査
請願第5号	公立保育園の維持を求める請願書	教育民生常任委員会	継続審査
請願第6号	全ての命の尊厳と人権を守る為の意見書提出を求める請願	総務常任委員会	継続審査

同意した人事案件

市長が選任、または任命する人事で、議会が同意した案件です。

- 副市長 吉田 秀一
- 監査委員 山口 文刀
- 教育委員会委員 平田 美奈
- 固定資産評価員 岡村 貴子
- 固定資産評価審査委員会委員 濱崎 宣子
- 農業委員会委員 池田 光一 池松 カツ子 石井 公司 石井 猛
今村 東 亀山 俊一 川島 保子 岸川 弘子 木下 邦生
神代 善幸 倉富 桂治 古賀 清子 後藤 靖子 田中 正喜
寺島 祐二 轟 真語 内藤 美貴子 中村 裕 中山 健治
平島 扶美香 日比生 和雄 福島 哲憲 保坂 泰生 吉田 徹

全国市議会議長会表彰

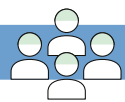
5月27日に開催された全国市議会議長会第102回定期総会で、2人の議員が表彰を受けました。

- 15年表彰 石井 秀夫 吉富 巧

※ 敬称は省略しています。

議案審査の概要

市長から提出された議案を、それぞれ所管の常任委員会で詳しく審査しました。主な議案審査の内容をお知らせします。



総務常任委員会

可決

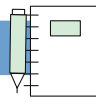
市税条例の一部を改正(第58号議案)

久留米市が事業所税を課税する指定都市等に該当しなくなったため、条例の一部を改正するものです。

審査の中で、こんな質問をしました

Q 今後、人口30万人到達に向けた取り組みが必要だと思うが、どのような形で進めていくのか。

A 人口減少や少子化の進展は全国的なものだが、将来にわたって久留米市が発展していくためには、人口は重要な要素だと認識している。そのためには、まちの活力を生み出し、まちづくりの鍵を握る「人」が重要だと考えており、人口増を見据えた取り組みを進めていきたい。



教育民生常任委員会

承認

部活動中に発生した車両損傷事故による損害賠償(第44号議案)

市立高等学校の部活動中に、自動車を損傷する事故が発生。被害者の受けた損害を賠償するための専決処分^{*1}をしたため、議会に報告し、承認を求めるものです。

審査の中で、こんな質問をしました

Q 今後も同様の事故が発生しないようにするために、どのような防止策を考えているのか。

A 学校周辺の住宅地や駐車場への安全対策として、練習方法を見直すなど、運用面でのリスク管理をより徹底し、再発防止に努めたい。



経済常任委員会

可決

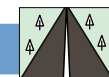
(仮称)藤光東部産業団地の整備事業用地の取得(第47号議案)

(仮称)藤光東部産業団地を整備するため、久留米市藤光町などの土地117,188平方メートルを取得するものです。

審査の中で、こんな質問をしました

Q 既存の藤光産業団地は10区画を整備したと思うが、新たな産業団地の区画数は。

A 当初の基本設計から事業区域を一部変更したため、今後、基本設計の修正を行っていく。企業の用地需要が大規模化の傾向にあることも踏まえ、適切な区画割りとなるよう検討していきたい。



建設常任委員会

可決

八重亀住宅No.1棟新築工事請負契約の一部を変更する契約締結(第48号議案)

公共工事設計労務単価^{*2}の引き上げに伴い、受注者から、新労務単価での契約への変更協議の請求があり、変更契約を行うものです。

審査の中で、こんな質問をしました

Q 新労務単価での変更契約により、下請け業者を含む建設労働者の賃上げにつながるものが重要と考えるが、市の考えは。

A 新労務単価への変更措置は、建設労働者の処遇改善を目的として国が自治体に要請したと認識している。その趣旨を理解していただき、賃金水準の引き上げなどを踏まえた下請け契約となるよう受注者に要請していきたい。

^{*1} 専決処分・・・議会が議決すべき事柄について、緊急を要するため議会を招集する時間的な余裕がない場合などに、市長が議会に代わって決定すること。専決処分した事柄は、次の議会で報告し、承認を求めることになっている。

^{*2} 公共工事設計労務単価・・・公共工事の工事費の積算に用いられる、作業員1人あたりの1日分の人件費相当額のこと。令和8年3月に新単価へ変更された。

議案の議決結果

✓ 全員賛成で可決・承認・同意した議案

令和8年6月26日議決分

- 第43号 久留米市市税条例の一部を改正する条例制定の専決処分について
 第44号 市立高等学校の部活動中に発生した車両損傷事故による損害賠償の専決処分について
 第46号 財産(学習者用コンピュータ端末)の取得について
 第48号 八重亀住宅No.1棟新築工事請負契約の一部を変更する契約締結について
 第49号 市道路線の廃止について
 第50号 市道路線の認定について
 第51号 筋違川1号幹線排水路整備に伴う排水路改良工事の施行に関する基本協定の締結について
 第52号 新川水門新設(1期)工事請負契約の一部を変更する契約締結について
 第53号 久留米市次期上津クリーンセンター施設整備及び運営事業に係る建設工事請負契約の一部を変更する契約締結について
 第54号 久留米市職員等旅費支給条例
 第55号 久留米市市税条例の一部を改正する条例
 第56号 久留米市印鑑条例の一部を改正する条例
 第57号 久留米市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
 第58号 久留米市市税条例の一部を改正する条例
 第59号 久留米市副市長の選任について
 第60号 久留米市監査委員の選任について
 第61号 久留米市教育委員会委員の任命について
 第62号 久留米市固定資産評価員の選任について
 第63号 久留米市固定資産評価審査委員会委員の選任について
 第64号 久留米市農業委員会委員の任命について



✓ 賛否が分かれた議案

議案名	会派名	さすな	久留米たすき	公明党	立志会	みらい久留米	緑水会	日本共産党	改革の会	日本維新の会	議決結果
		(5)	(6)	(6)	(6)	(4)	(3)	(2)	(1)	(1)	
第45号 令和8年度久留米市一般会計予算		○	○	○	○	○	※1	×	○	○	可決
第47号 財産((仮称)藤光東部産業団地の整備事業用地)の取得について		○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決

※1・・・緑水会議員団は、賛成1人、反対2人

会派名の()内の数字は所属議員数です。ただし、さすな議員団は議長を除きます。議長は表決に加わりません。
 賛成は「○」、反対は「×」、退席は「退」と表記しています。
 会派名は、さすな(さすな議員団)、久留米たすき(久留米たすき議員団)、公明党(公明党議員団)、立志会(立志会議員団)、みらい久留米(みらい久留米議員団)、緑水会(緑水会議員団)、日本共産党(日本共産党久留米市議員団)



議員個人の賛否の状況はホームページでご覧いただけます [久留米市議会 議案と結果](#)

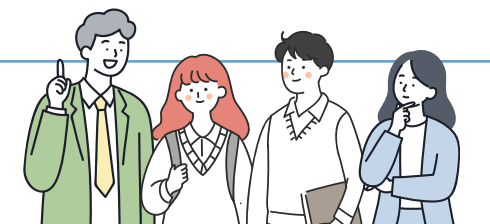
検索

久留米市議会
「議案と結果」

お知らせ

未来を担う中学生と意見交換

8月5日(水)に中学生議会を開催しました。
 当日の様子を次号の特集でお届けします。どうぞ楽しみに。



／ ここが知りたい ／ 一般質問代表質問

【代表質問とは?】所属する会派を代表して行う質問です。久留米市議会では当初予算を審議する定例会で行っています。



議会中継(録画)

きずな

まちづくり・くらし



たずみ かずや
田住 和也

Q 自治会加入者の減少に伴う課題と、自治会の活性化に向けた今後の取り組みは

A 少子高齢化、価値観の多様ななど社会環境が変わる中、役員の担い手不足や、活動への不参加などの課題があると聞いている。自治会運営と住民ニーズの不一致や、自治会活動への理解不足などが要因として考えられる。これまで、加入促進のための啓発やデジタル媒体での情報発信の支援、研修会の実施、若い世代の地域活動参画のきっかけづくりの支援を行った。今後は、校区まちづくり連絡協議会に設置された「自治会活性化に関する検討委員会」での検討状況を踏まえ、若い世代など多様な主体が、できる時にできる事で関われるよう、自治会活性化の取り組みへの支援をしていく。

その他の質問…市営住宅、熱中症対策など

公明党

教育・子ども



たなか こういち
田中 功一

Q 本市には市立特別支援学校があるが、本来は県に設置義務がある。県からの財政支援と、正規教員の配置状況は。支援の強化を求めている

A 児童生徒の増加や施設の老朽化、バリアフリー化に伴い改修や増築を実施。国の補助はあったが、県からの財政支援はない。また、116名の教員のうち正規教員は39名、ほかは常勤講師等で、現時点で欠員はない。毎年県から正規職員の派遣を受けているが、他の教員を指導できる専門的な知識や経験を有する教員の確保が課題となっている。県内で市立の特別支援学校を設置している福岡市、北九州市、大牟田市と合同で、財政支援や教員の人事交流について県に毎年要望している。今後も、教員の任命権を持っている県に、人員配置や施設整備についてしっかりと要望していきたい。

その他の質問…公共施設、認知症高齢者の支援など

みらい久留米

商工業・農業



いしだ しんいちろう
石田 眞一郎

Q 8月に開催される水の祭典久留米まつりの熱中症対策や、開催時期変更の考えは

A 子どもや高齢者などの熱中症弱者への対策は最優先すべきと考えており、水の祭典振興会と協議を重ねている。これまでもミスト散水、日よけテントの設置、屋内会場への変更などさまざまな対策に取り組み、今年からパレード開始時間を従来の14時から16時に見直した。開催時期の変更を求める意見がある一方で、変更すると参加できない企業や運動会などと重なる学校もあり、変更を望まない声もある。現在の8月4日が多くの方が参加しやすい時期と判断し、時期の変更ではなく、安全性を確保した上での時間の見直しに至った。

その他の質問…人口減少・気候変動を踏まえた持続可能なまちづくりなど

／ ここが知りたい ／ 一般質問個人質問

【個人質問とは?】議員個人が議案以外の市政について行う質問のことをいいます。6月定例会で行った質問の一部を紹介します。

久留米たすき

まちづくり・くらし



なかむら ひろし
中村 博俊

Q スポーツ推進委員*1やスポーツ推進委員連絡協議会に対する市の課題認識は

A 市民スポーツ推進の中核を担う人材であるが、個人の事情もあり、活動協力頻度に差がある。委員全員で構成する連絡協議会で課題整理され、活発な委員の活動につながる議論がなされていくと考えている。

その他の質問…久留米大学医療センター閉鎖など

改革の会

まちづくり・くらし



おおくま ひろふみ
大熊 博文

Q 上下水道未整備地区で災害による停電が発生した場合、市はどう対応するのか

A 井戸用のポンプなど電源を必要とする生活設備が使えなくなるため、生活支援拠点への給水所や仮設トイレの設置など、市民生活への影響をできる限り低減できるよう関係者と連携して取り組んでいく。

その他の質問…生活支援交通の今後など

久留米たすき

まちづくり・くらし



こういちろう
そうだ 耕一郎

Q JR久留米駅周辺のまちづくりを中心市街地の活性化にどうつなげていくのか。駅周辺駐車場の状況と対策は

A JR久留米駅前第二街区の再開発事業の完成が間近に迫る中、居住者、通勤通学者、来街者が交流したくなるようなまちづくりを進めていく必要がある。今後は、新たな商業棟の開業や東西自由通路などを活用しながら、行政・民間・地域住民が一体となった魅力的な賑わいづくりや中心市街地の活性化につなげていきたい。また、駅周辺の駐車場は不足していると認識しており、まずは、駅乗降客数の推計や自動車利用率を調査・分析し、状況を把握したい。併せて、バスなど公共交通の利用を促すなど、環境負荷の軽減にも取り組んでいく。

その他の質問…イラン情勢を受けた医療機関のサプライチェーン維持体制の構築、久留米産スニーカーの振興など

立志会

まちづくり・くらし



とどろき てるたか
轟 照隆

Q 全国で樹木の倒木事故が相次いでいる。市として何らかの緊急的な対応を行っているのか

A 市では公園に約25,000本、街路に約6,500本の樹木を管理し、国土交通省の指針に基づき策定した樹木診断マニュアルに沿って点検や診断を実施している。全国的にサクラ類の倒木事故が発生している状況を踏まえ、令和8年4月からソメイヨシノを中心とした樹木約4,000本について、緊急点検診断を開始している。特に、利用者が多い公園については優先的に専門診断を行い、5月末までに倒木の危険性が高い9本を伐採した。7月末までにすべてのサクラ類の点検・診断を完了させ、診断結果に基づいた必要な対策を速やかに進めていきたい。

その他の質問…市立高校の施設の老朽化、久留米市民流水プールなど

緑水会

教育・子ども



さとう しょうじ
佐藤 晶二

Q 少子化により児童数が減ることで、現在、過大規模校となっている状況は解消するかもしれないが、何らかの対策を打つべきではないか

A 現在、西国分小学校と南小学校は、通常学級が31学級以上の過大規模校である。これまでも児童数や特別支援学級の増加に合わせて教室の改修、校舎の増築を行い、教室不足などに対応してきた。今後、少子化の進行に伴い、市立小学校の児童数は全市的に減少することが見込まれており、現在の過大規模校も将来的には大規模校へ移行すると見込まれている。引き続き、児童数・学級数の状況を注視するとともに、必要に応じて施設の改修等を行いながら、適切な教育環境の維持に努めたい。

その他の質問…通学区域の改変、久留米大学医療センターへの対策など

久留米たすき

教育・子ども



かいだ よしひろ
甲斐田 義弘

Q ベビーシッターの利用促進や市独自の助成についての考えは

A 柔軟な預かり事業があることは、利便性やサービス拡充の点で一定効果がある。一方で、安定したサービスを提供するための人材や財源確保に課題があり、独自の制度導入には慎重な検討が必要である。

その他の質問…学校統廃合による財源を活用した過大規模校対策など

緑水会

教育・子ども



よしたけ けんじ
吉武 憲治

Q 人口問題の自然減対策である若年層の結婚・出産支援の取り組みは

A 結婚支援として、出会いイベントの実施や家賃等の補助、出産支援として、プレコンセプションケア*2や不妊治療の周知啓発に取り組んでいる。若い世代の希望実現を応援し、選ばれるまちを目指す。

その他の質問…(仮称)藤光東部産業団地の整備に係る周辺道路環境など

公明党



さかた みつひろ
坂田 光弘

その他の質問…企業における男性育児休業取得の現状と課題など

教育・子ども

Q 子育てを支援する企業・団体との連携強化や市独自の認定制度の考えは

A 県と連携し「子育て応援宣言企業」「子育て応援の店」などの周知・登録促進に努めている。市独自の認定制度導入については、効果や課題など調査研究し、検討したい。

日本共産党



こばやし ときよ
小林 ときこ

その他の質問…国民健康保険料における子ども・子育て支援納付金分の加算など

教育・子ども

Q 小学校給食無償化となり、給食を食べることができない児童への給付検討は

A 国の学校給食費の負担軽減制度では、給食を食べることができない場合の取り扱いはい自治体判断となる。給食費相当分を給付している他市の状況や事務負担等も考慮し、実施するかどうかも含め検討したい。

日本維新の会



くさば きみはる
草場 公晴

その他の質問…民間プール活用と学校体育支援の充実など

健康・福祉

Q 認知機能検査とトレーニング※3の効果、今後の地域資源との連携は

A 昨年度の参加者には、規則正しい生活習慣や認知機能の維持改善が見られた。今後は様々な地域資源と連携した認知症予防の意識醸成、認知症の人や家族を地域で支えあう仕組みづくりを推進したい。

きずな



ほりた こうたろう
堀田 洸太郎

その他の質問…山ノ井川流域における水害対策など

行財政

Q 地元への就職支援など、若者世代の転出防止の取り組みと今後の展望は

A これまで学生を対象とした合同会社説明会を実施。今後「奨学金代理返還制度」※4の導入支援や「採用力強化セミナー」等に取り組み、市内就職を促進して若い世代に選ばれるまちづくりを進める。

立志会



ながの さとし
長野 哲

その他の質問…食環境整備と民間連携による生活習慣病対策の推進など

行財政

Q 令和9年1月に開始予定の「書かない窓口」の効果と業務改革の取り組みは

A システム活用により住所異動関連の手続きを中心に、申請書の記入項目が少なくなり、職員の業務も削減される。今後も、市民サービス向上と業務効率化を図っていきたい。

公明党



いのう かおる
生野 薫

その他の質問…創業支援と地域活性化など

防災・安全

Q ペットの防災対策が進むような取り組みは

A 市のペット同伴避難所は3か所。今年5月に福岡県で行った総合防災訓練では、パンフレットの配布、ペットと避難するためのグッズ紹介、人とペットの救助訓練を実施するなど啓発に取り組んでいる。

※1 久留米市スポーツ推進委員
市民スポーツの推進に向け、指導や助言などを行うスポーツ基本法に基づく特別職非常勤職員。

※2 プレコンセプションケア
性別を問わず、若い世代が早い段階から、性や妊娠、健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めた将来設計を考えながら健康管理を行う取り組み。

※3 認知機能検査とトレーニング
認知症を発症する前段階とされる軽度認知障害を早期に発見し、認知機能の維持・改善を図るもの。仮想現実を体験できるVR機器で認知機能の低下リスクを発見し、6か月間の自宅学習を含めたトレーニングを行う。

※4 奨学金代理返還制度
社員が日本学生支援機構から受けていた奨学金の残額の一部又は全額について、企業が代わりに同機構に直接返還する制度。



政務活動費
収支報告書等

令和7年度 政務活動費の収支状況

政務活動費は、議員の調査研究、その他の活動に必要な経費の一部として会派に交付され、その額は議員1人あたり月額5万円です。領収書などの関連書類はホームページで公開しています。また、市役所18階の議会事務局で書類の閲覧もできます。

(単位:円)

会派名	久留米たすき	きずな	公明党	立志会	みらい久留米	緑水会	日本共産党	日本維新の会	改革の会	合計
議員数	6人	6人	6人	6人	4人	4人	2人	1人	1人	36人
収入 政務活動費	3,750,000	3,600,000	3,600,000	3,600,000	2,400,000	2,400,000	1,200,000	600,000	450,000	21,600,000
支出 合計	3,130,062 (83.5%)	2,031,414 (56.4%)	529,773 (14.7%)	3,409,168 (94.7%)	2,028,444 (84.5%)	1,703,117 (71.0%)	1,088,985 (90.7%)	599,716 (100.0%)	436,977 (97.1%)	14,957,656 (69.2%)
返還額	619,938 (16.5%)	1,568,586 (43.6%)	3,070,227 (85.3%)	190,832 (5.3%)	371,556 (15.5%)	696,883 (29.0%)	111,015 (9.3%)	284 (0.0%)	13,023 (2.9%)	6,642,344 (30.8%)

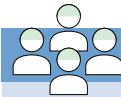
※()は、収入に対する割合で、小数点第2位を四捨五入。 ※久留米たすき議員団は、令和7年4月～6月分は7人分を交付。 ※改革の会は、令和7年7月分から交付。

常任委員会
活動レポート

常任委員会では、議案の審査だけでなく、市民生活に深く関わることを調査研究する所管事務調査や、市民などから市議会へ要望等を申し出るために提出された請願の審査を行っています。

今回は、4・5月の常任委員会の活動状況をお知らせします。

常任委員会の録画映像をYouTubeで配信しています。録画映像にリンクする二次元コードを掲載しています。ぜひご視聴ください。



総務常任委員会



シティプロモーション

シティプロモーションの考え方や今後の取り組みの方向性などについて、広報戦略課から説明を受けました。

Q 若い世代などを呼び込むためには、市の取り組みのアピールだけでなく、何が求められているのかを押さえることが所管課の役割だと思うが、どのように考えているか。

A ターゲット層がどのようなことを求めているのか、情報の取得方法などは当事者に直接聞いた方が一番分かりやすいと考えている。把握の方法については、引き続き検討していきたい。

その他のテーマ▶ 久留米シティプラザ



経常任委員会



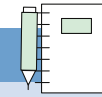
水田農業の「今」と「これから」

水田農業を取り巻く情勢や課題、今後の取り組みについて、生産流通課から説明を受けました。

Q スマート農業や、さまざまな生産方式の導入などが行われているが、市の水田農業が持続的に発展していくために、市はどのように考えているか。

A 行政にできる部分、行政にはできない部分があるため、今後も農業者やJA、関係機関と密接に連携しながら、水田農業の持続的な発展につながるよう進めていきたい。

その他のテーマ▶ 久留米市の観光振興



教育民生常任委員会

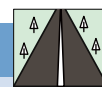


久留米市動物愛護センター

令和7年度に百年公園内に開設した、動物愛護センターの目的や動物愛護の取り組みについて、保健所衛生対策課から説明を受け、現地調査を行いました。



その他のテーマ▶ 久留米市の図書館



建設常任委員会



空き家対策と住宅セーフティネット

(公社)福岡県宅地建物取引業協会久留米支部の方を招き、空き家問題の現状や課題などに関する意見交換を行いました。

Q 市から所有者に対し、空き家の活用や法的な情報が伝わるように工夫していけば、空き家が流通しやすくなると思われるか。

A 空き家が流通するには、所有者が行動を起こすことが必要。空き家の所有者が「空き家相談チケット※1」などを活用して、売却や貸し出しに向けて動き出すように働きかけると変わっていくのではないかと。

その他のテーマ▶ 杉谷埋立地(現地調査)

※1 空き家相談チケット・・・住宅政策課(TEL: 0942-30-9139)で配付しており、相談料は無料で相談時間は30分。不動産や相続の相談内容に応じて事業者を選び、日時を予約して相談することができる。

議会広報

クルメンジャー

第5回「生成AIとは？」

総務常任委員会
でテーマになつて
いたAIって
そもそも何なの？

ざっくり言うと
AIとは
「人工知能」の
ことよ。

そして、最近よく聞く
生成AIは、質問に答えて
くれたり、文章や絵を
作ったり、新しいアイデアを
提案してくれたり
するのよ。

今、いろんな分野で活用が
進んでいるね。人手不足への
対応や仕事の効率化にも
期待されているんだ。

医療 防災 教育 農業
AI
KURUME 行政

へーすごいなあ！
生成AIがあれば
何でもできそうだね。

いきなり登場
議員さん

そうです！
しかし、生成AIも
万能ではありません！

ときには間違つた情報を
示したり、人の気持ちを
十分に理解できなかったり
することもあるんだ。

だから、人が常に確認して
活用しなければ
ならないんだ。

あくまでAIは
人間を手助けする
アイテムなんだよ。

そうかいじゃあ、早速
AIにクルメンジャーの
新スーツをデザインして
もらおう！

えっ？
スーツ変えるの？

できた！

巨峰
バージョン

久留米ラーメン
バージョン

焼き鳥
バージョン

うーん…

これが
AIのアイデアか…

久留米の名物は
取り入れてるけど…

やっぱり、最後は
人の確認と工夫は
欠かせないって事ね。

ちなみにこれが僕の
考えた新スーツだよ！
どう？僕の工夫！

はいはい…
その話はまた今度

編集後記

今回の特集は、総務常任委員会と本予算。本予算特集では、初めての試みとして、委員の皆さんに、印象に残った質疑を選んでもらいました。注目が集まった理由なども深掘りしながら、正副委員長と予算委員会を振り返りました。市民の皆さんに議会に関心を持ってもらえる紙面になるよう、これからも工夫を重ねていきます。

議会広報委員会

今号の表紙



今年の中核市議会議長会「議会報コンクール」で、市議会だよりくるめが2度目の最優秀賞を受賞しました。このことを記念して、今号の表紙は、リニューアル後の歴代表紙を並べてみました。さて、今回の最優秀賞はどれでしょうか。結果は表紙の二次元コードからご確認ください。

次回定例会の案内

市議会の本会議は、どなたでも傍聴できます。市役所20階の傍聴席までお越しください。本会議が始まる時刻は、午前10時の予定です。

ライブも録画も配信中

本会議の内容は、久留米市議会ホームページの「インターネット議会中継」でもご覧いただけます。



議会中継

9月定例会(予定)

月	火	水	木	金	土	日
8/31	9/1	2 本会議 (提案説明)	3	4	5	6
7	8	9	10 本会議 (一般質問)	11	12	13
14	15	16 常任委員会 (教育民生・建設)	17 常任委員会 (経済・総務)	18	19	20
21	22	23	24	25 本会議 (採決等)	26	27
28	29	30	10/1 決算委員会	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15 本会議 (採決等)	16	17	18

※日程は都合により変更されることがあります。

市議会だよりを読んでのご意見、ご感想をお寄せください

発行: 久留米市議会 編集: 議会広報委員会 / 久留米市城南町15番地3

TEL.0942(30)9305 / FAX.0942(30)9720 / E-mail gikai@city.kurume.lg.jp

「市議会だよりくるめ」は、環境に配慮した再生紙を利用しています。 ご意見等はこちらからも投稿できます▶

